

掛田自治協議会からのお知らせ 掛田の広場



第13号
2017年12月28日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 佐藤隆昭



仙台光のページェントの様子
電飾カーにはサンタさんが乗っていました。

伊達政宗生誕450年を記念して「光のページェント」開催中の仙台市を訪ねる企画でした。12月16日(土)70名の参加をいただき、お昼過ぎ2台のバスで掛田を出発しました。往路のバスの中では伊達氏と政宗の歴史エピソードの昔話を聞きながら、まず青葉城跡へ到着。ハイビジョン新CG映像の鑑賞。おなじみ政宗騎馬像が建つ広場から、政宗が「奥州の伊達」として領土の開発を想い描き望んだであろう仙台平野を眼下にし、伊達の誇りを感じた私達でした。続いて、仙台市博物館を見学。政宗と伊達市の繋がりを知り、興味と感動を受けました。日も沈みよいよ「光のページェント」会場の定禅寺通りへ移動。点灯の瞬間、約60万個のLEDが一齐に輝き、街は暖かいオレンジ色に包まれました。感動のままホテルのディナーに舌鼓を充ました9時間のバスツアーになりました。

伊達政宗生誕四百五十年の 仙台市を訪ねる

お待たせしました
ミニスーパー!

10月8日(日)「やすまんしょ」ミニスーパーを改装オープンさせていただきました。開店以来、多くのお客様にご来店・お買い上げいただき有難く御礼申し上げます。実はこの地域のお店がドンドン閉店していく中で、日々のお買い物に自由をおかけしており何かをしなければと考え一昨年頃から検討計画して参りました。そこでインターネットで広く支援をお願いしましたところ、全国から心温まる励ましや支援金を頂き、改装開店の運びとなりました。まだまだいろんな面で厳しいものがありますが、地域の皆さまのご来店、お買い上げをよろしくお願い致します。

伊達市が進めている「健幸都市」「歩いて暮らせるまちづくり」の為に、よろしく願います。

(霊商スタンプ会 佐藤吉彦)



改装オープン初日、店頭の様子



霊山町文化祭・シルバー展



第45回(※シルバー展は第33回)
霊山町文化祭・シルバー展



(上) 店内の様子 (下) ヨッテ駐車場イベント開催

10月28日(土)・29日(日)霊山町文化祭とシルバー展が同時開催されました。一年かけて製作された作品はどれも素晴らしく若さにあふれていました。また、芸能発表も日々の習の成果を発揮したステージが繰り広げられました。多くの皆さまにご来場いただき、新たな発見をして欲しいと思います。

お知らせ

- 掛田初詣情報
掛田では次の三つの神社で初詣の準備をしています。参拝してみたいはかがでしょうか。
☆亀岡神社 西裏 ☆秋葉神社 北町
☆愛宕神社 八幡内
- 成人式 1月7日(日)10時から
霊山中央交流館大ホール
- 掛田地区老人クラブ新年会 1月10日(水)
11時から すゞきや旅館
- 公開講演会 2月28日(水)13時30分から
霊山中央交流館大ホール
講師 氏家 幹人 氏(掛田出身)
- 掛田マルシェ情報 3月3日開催を目指し準備中です。



掛田地区・各松寿会の皆さんの展示の様子

掛田自治協議会は「NPO法人りょうぜん楽しもう会」や、各種団体と協力して、掛田地区を住みやすく安全にくらせる地域にしたいと活動しています。先般(10月22日)、役員等関係者で、先進地宮城県米どころ登米市を訪ねて、『とめ市民活動プラザ』の活動状況を視察研修して参りました。地域の課題は様々で、人口減少、若者の婚活・子育て、空き家対策等では「お節介おばさん」の活躍、FM放送局では結婚相談・空き家情報等も発信していました。

先進地研修で登米市訪問



青葉城にて記念写真

また数あるNPOや町おこしグループをつなぎ、情報交換を進めて、地域の活性化を推進しています。ちょうど当日、別の部屋で「どきどきこ縁・秋めぐり」というイベントが行われており、適齢期の男女が集まってとても賑やかでした。今回の研修も有意義な研修となりました。これらを参考に、私たちの町「掛田」のまちづくりを皆さんと一緒に進めていきたいと思っております。皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

(地域づくり部会 佐藤吉彦)



(上) 参加者の集合写真 (下) 活動説明会



「登米市」って宮城県の北部にあるんだよ!

編集後記

今年も早いもので、年末を迎えました。「掛田の広場」第十三号も皆様のご協力により、発行できましたこと心より感謝いたします。来年も身近な地域の情報誌として、発行していきたいと思っておりますので地域の情報やご意見を、お寄せください。皆様良いお年をお迎えくださいませ。



お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

コラム

「親指に感謝」

ケンショウエン



還暦を迎えたその日、腱鞘炎になった。親指の使い過ぎらしい。何でも過ぎたるは良くないが、過ぎてから気づくことも多くある。親指がなぜ一本だけ違う方向を向いているか、グルグル回って他の指の補助をするのか。「なぜだろう」、いろいろ考えた。他の4本の指に的確な指令を出し日夜働いている「この指パト」...という歌があるが、家庭の大黒柱は大切な。しかし一人だけでイバッていてはいけない。家族だって思いやりを持って協力して、助け合って互いを認め合い見守り受け止める。「これからもよろしく」と親指をなでながら感謝した。

かけだ健幸フェスティバル

11月23日(木) かけだ健康フェスティバルが開催されました。なみえダンスでお馴染の石山波恵先生による『見て・聞いて・動いて』のために、爆笑/健康講演がありました。

パワー全開のトークに魅了され、頭目耳口手足と全身で聴いて健康作りを体感した笑顔あふれる講演会となりました。



ダンスも取り入れた健康体操の紹介がありました。先生につられて手を上げて大爆笑!笑顔は健康の源です。

講演の後、金子町ボケットパークでのゲーム足じゃんけんも全身運動。大いに拍手をして心も体もボッカボカ。ゴールのヨッテミでは医療生協霊山支部の健康チェックと盛りだくさんの日程でしたが、おいしい芋煮汁や焼き芋、綿あめを皆さんと食べて健康の大切さを実感した一日でした。地域の皆様の応援をいただきましたこと心より御礼申し上げます。

(大橋イツ子)

『毎日がアルツハイマー』上映会

12月2日(土) 関口祐加監督の映画『毎日がアルツハイマー』を霊山中央交流館健康スタジオにおいて上映しました。好天に恵まれ、客席を60席用意したところ20席追加する程の観客を得ることができました。

観客の大半が「認知症予備軍?」とならないように、学びに来館されたことでしょうか。主人公の様々な失敗にうなずいておられたことは同意の表れであり、専門医師の「たとえ認知症になったとしても95%は脳の働きが残っているのですから、本人の気持ちを尊重することですね」との言葉を重く受け止めたいと思われた上映会でした。

(健康福祉部会 八島利幸)



健康で長生きは皆が願う希望です。

出前寿司講座

11月17日(金)、うまか亭社長堀江様を講師に迎え、秋刀魚の刺身、海鮮バラ寿司、なめろうに挑戦。昨年来二回目の講習会に、30数人が参加され、秋刀魚の裁き方、三枚おろしやバラ寿司などのご指導を頂きました。

出来上がった料理は、皆さんと懇談しながらいただきました。来年も料理講習会を開催しますので皆さまのご参加をお待ちしています。

(社会教育部会 清野良治)



料理と試食会、料理は各々に刺身、バラ寿司が配膳されました。

フレッシュママトーク

乳幼児とママ(パパ、祖父母)が参加し、「楽しい時間を過ごしましょう。」を合言葉に今年度は六回の学習会を計画しました。昨年同様、託児ボランティアがお子さんを見守ります。

9月21日は「絵本の選び方」。10月31日の調理実習「レンジで作るオムライス」ではエプロン姿でお手伝いするお子さんもいました。専門家を講師に迎え、楽しく学びフレッシュしています。(健康福祉部会 菅野千恵子)



茶道も体験

オムライスもおいしくできました。

掛田地区防火訓練

環境防災部会主催による防火訓練が11月19日、約50人が参加し、茶臼の里にて開催されました。伊達地方消防組合東分署の協力により、「自分や家族を守るために」と題して、副分署長の講話があり、その後は火災発生時の通報訓練、煙を発生させての避難体験や消火器の使用訓練を行い、参加者全員で火災予防意識を高めました。

館防災会からは20数名が参加し、会場準備や受付等協力していただきました。(館推進員 引地正広)



(右) 室内で防火講話 参加者全員真剣に聴講。

(左) 屋外での消火訓練。

「ドキドキするね!」

亀岡神社の神輿渡御祭

10月14日・15日に亀岡神社の秋季例大祭並びに神輿渡御祭が斎行されました。

山車運行を担った四方部の若連(金子町・館・町田、い組、北組、下組)は、14日の夕方、中央交流館に集合して前夜祭を実施しました。自慢の山車と、太鼓の演奏で盛り上がりました。



14日、山車集合の大迫力前夜祭

翌15日、山車は神輿に随行し、方部毎に町内運行を行い、夕方には八幡角に集合し祭りの終わりを惜しむ太鼓の競演となりました。宮入前の儀式で、宮司と総代からの謝辞があり、花火を合図に無事宮入となりました。



(上) 街中を移動中 (下) 第二会場へ到着

中町行政区の芋煮会

11月26日(日)、交流館にて、各班长、スタッフ、52名の参加で開催しました。推進員のあいさつに続いて山桃流皇千代子さんご厚意により「さだめ雪」の舞踊が披露され、参加者から大喝采を受けました。

主役の芋煮を堪能しながら、スポーツ民踊のステージ、そしてビンゴゲームでは一度に6名の当り。ジャンケンでの順位決めは大盛況でした。



「さだめ雪」舞踊の様子 縮めました。ほんの二時間ででしたが、子供からお年寄りまで楽しいひと時でした。(推進員 安田 利喜雄)



下組は龍の彫りものを若連が手作り仕上げました。一階は勿論のこと、二階でも太鼓が打てるのが自慢です。